

平取町地域公共交通活性化協議会 平成21年2月26日設置



概要

平取町は、人口5,819人の過疎地域であり、小中高校生の通学、高齢者の通院・買い物等住民生活に不可欠な交通手段は、路線バス、町営バス、スクールバス等に依存している。しかし、年々、利用者も減少しており、町営バスを含めた生活路線バス維持のための負担金やスクールバスの運行委託経費等が財政を圧迫する要因ともなっている。このため、路線バスと町営バスを効率的に運行して利便性の向上を図り、高齢者などの交通弱者に配慮した交通体系に整備するため調査検討を実施する。

○地域公共交通の現況

- ・道南バス(株)(地域内11路線、都市間2路線)
- ・町営バス(本町～川向線、貫気別～芽生線、貫気別～旭線)
- ・スクールバス:2路線
- ・国保病院通院のための送迎ワゴン車

○地域公共交通の課題

- ・路線バスと町営バスの利用低迷
- ・路線バスのバス停までの距離が長く、利便性が低い
- ・高齢者等、交通弱者の足の確保

○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・コミュニティバス・乗合タクシー等の試験運行

○策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・コミュニティバスの導入
- ・デマンド型交通の導入
- ・路線バスの再編
- ・町営バスの運行方法の見直し

